



学校運営協議会だより

令和4年7月21日 No1

市川市立 若宮小学校

第1回 学校運営協議会開催

若宮小学校は、平成29年度から学校運営協議会を設置しコミュニティスクールとしてスタートし、本年で6年目を迎えます。学校運営協議会は、「学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に取り組み、よりきめ細かな、質の高い教育活動を展開し、地域に開かれた学校を実現すること」を目的としています。

今年度も第四中学校、中山小と方針を確認しながら、共同開催を持ち、四中ブロックとしてコミュニティスクールを推進しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を行いながら、運動会や宿泊学習、授業参観など保護者の皆様や地域の方の協力をえながら行ってきました。7月には、四中ブロック合同学校運営協議会を開催し、子供たちの育成や学校運営のためにご尽力をいただきました。

今年度は、6月17日（金）午後1時00分から「第1回学校運営協議会」が開催されました。市川市教育委員会学校地域連携推進課より田部井主幹、湊主査、大橋弥生家庭教育指導員が出席され、15名に委嘱状が交付されました。委員の皆様には、低学年の授業を短い時間ですが、参観していただきました。

15名の協議会委員が地域の宝である子どもの育成や学校の運営のために、本会の機能を生かしていくことを確認しました。

また、コロナ感染症防止を考えながら年間4回の開催を目指していきたいと考えております。

校長より

・若宮小の学校教育目標「自分で考え たくましく生きる心豊かな子どもの育成」を達成するために、「みんなのよさをみんなでつなぐ、楽しい学校」をスローガンに教職員全員が、1、「主体的・対話的で深い学び」の充実 2、互いを認め合う人間関係の構築 3、自分の健康への関心を高める 4、保護者・地域へのスピード感のある対応 5、9年間を通しての子供たちの育成 という目標を持ち、「工夫しながら学習に取り組む子」「自分なりにやり抜く子」「互いに認め合う子」を育むために協力して、全力で取り組むことを説明しました。

意見交換

- ・子供達の登下校中の歩行について（道に広がってしまっている）のお話がありました。
- ・中学校とは、連携があるが幼稚園との連携を図っていくことが必要なのではないか。
- ・家庭訪問が地域訪問に代わっているが、以前のように家庭訪問を行っていくほうがよいのではないか。
- ・牛乳を残している量が多いのに、驚いた。
- ・参観を通して、子供達がよく頑張っている。先生方もICT 機器を使用している学級が多い。

地域から

- ・「夏祭り」についての話がありました。

※委員名簿は2枚目になります。

令和4年度学校運営協議会委員（敬称略）

役職	委員氏名	所 属
会長	佐藤 晴夫	元市川市立若宮小学校 校長
副会長	石崎 寛司	朝日新聞中山店 所長
委員	林 克彦	若宮2丁目町会 会長
委員	鈴木昇五郎	若宮3丁目町会 会長
委員	石井 孝幸	若宮3丁目上町町会 会長
委員	奥山 浩康	北方町4丁目南自治会 会長
委員	立川 和子	若宮北方地区民生児童委員協議会会長
委員	大浦 京子	若宮小学校コミュニティクラブ
委員	太田 聡子	市川市少年補導員（第四中ブロック）
委員	木村 和宣	若宮北方地区民生児童委員
委員	石原 清孝	地域学校協働活動推進委員
委員	高橋 大策	若宮小学校 P T C A 会長
委員	棚澤 恵子	市川市立若宮小学校 校長
委員	三田村明洋	市川市立若宮小学校 教頭
委員	五関 賢太	市川市立若宮小学校 教務